

1 次の①～⑤の数は、下のA～Eのどの数のグループに入りますか。それぞれ選び、記号で答えなさい。2つ以上ある場合はすべて選ぶこと。また、あてはまるものがない場合は、「なし」と答えること。

① -3                      ② 5                      ③ 2.3                      ④ 0                      ⑤ -7.2

A. 自然数 (正の整数)      B. 負の整数      C. 整数      D. 正の数      E. 負の数

2 次のA～Dは自然数どうしの計算です。下の(1)～(5)に答えなさい。

A. (自然数) + (自然数)      B. (自然数) - (自然数)      C. (自然数) × (自然数)      D. (自然数) ÷ (自然数)

(1) A～Dから、答がかならず自然数になるものを選び、記号で答えなさい。

(2) A～Dから、答はかならず整数にはなるが、自然数にならないことがあるものを選び、記号で答えなさい。

(3) (2)で答えた計算の答をすべて出すためには、自然数以外に、あとどのような数が必要ですか。次のア～エからすべて選び、記号で答えなさい。

ア 整数以外の正の数      イ 負の整数      ウ 整数以外の負の数      エ 0 (ゼロ)

(4) A～Dから、答が整数にならないことがあるものを選び、記号で答えなさい。

(5) (4)で答えた計算の答をすべて出すためには、自然数以外に、あとどのような数が必要ですか。(3)のア～エからすべて選び、記号で答えなさい。

3 次のA～Iの計算について、下の問いに答えなさい。

A. (負の数) + (負の数)      B. (負の数) - (負の数)      C. (正の数) + (負の数)

D. (正の数) - (負の数)      E. (負の数) × (負の数)      F. (負の数) ÷ (負の数)

G. 0 ÷ (正の数)      H. (正の数) ÷ 0      I. (正の数) × 0

(1) A～Iから、答がかならず負の数になるものを選び、記号で答えなさい。

(2) A～Iから、答がかならず正の数になるものを選び、記号で答えなさい。

(3) A～Iから、答が0になることもあるものを選び、記号で答えなさい。

(4) A～Iから、答がかならず0になるものを選び、記号で答えなさい。

(5) A～Iから、答が出せないもので、やっではいけないものを選び、記号で答えなさい。

4 次の計算について、下の問いに答えなさい。

$$6 \times 14 \div 3 \times 5 \div (-7) = 6 \times 14 \times \boxed{\text{ア}} \times 5 \times \boxed{\text{イ}} = \boxed{\text{ウ}}$$

(1)  $\boxed{\text{ア}} \sim \boxed{\text{ウ}}$ にあてはまる数を答えなさい。

(2) 3に対する $\boxed{\text{ア}}$ 、-7に対する $\boxed{\text{イ}}$ のような数を何というか。

(3) 3と $\boxed{\text{ア}}$ 、-7と $\boxed{\text{イ}}$ の積は同じ数になる。その数は何か。

5 次の計算について、下の問いに答えなさい。

$$6 + 14 - 3 + 5 - (-7) = 6 + 14 + \boxed{\text{ア}} + 5 + \boxed{\text{イ}} = \boxed{\text{ウ}}$$

(1)  $\boxed{\text{ア}} \sim \boxed{\text{ウ}}$ にあてはまる数を答えなさい。

(2) 3と $\boxed{\text{ア}}$ 、-7と $\boxed{\text{イ}}$ の2組の数は、ともに、あるものが同じであるものが違う。同じものと違うものをそれぞれ答えなさい。

6 川原で5個の石を拾い、重さをはかったところ、表のようになった。次の問いに答えなさい。

(1) 石の重さの仮平均を400gとして、仮平均と各石の重さとの違いを、正負の数を使って表中に記入しなさい。

石の重さ [g]	425	480	320	280	375
仮平均との違い					

(2) 仮平均との違いの和を求めなさい。

(3) (2)の結果を使い、重さの真の平均を求めなさい。

1 +, -の符号を使って, 次の数を表しなさい。

- (1) 0より10小さい数 (2) 0より7大きい数  
(3) 0より63大きい数 (4) 0より38小さい数

2 次の数の中から, 正の数, 負の数, 自然数をそれぞれ選びなさい。

-5,  $+2\frac{2}{3}$ , -1.5, +4, +0.2, -8, +10

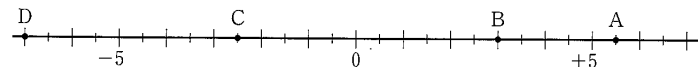
正の数( ) 負の数( ) 自然数( )

3 次の□にあてはまる数やことばをそれぞれ答えなさい。

- (1) 現在から5分後を+5分と書くと, 7分前は□分と表せる。  
(2) 200円の収入を+200円と書くと, 150円の支出は□円と表せる。  
(3) 気温が昨日より3°C低いことを-3と書くと, +4は, 気温が昨日より□ことを表す。

4 次の(1)~(4)の数を下の数直線上に表しなさい。また, 点A, B, C, Dに対応する数を書きなさい。

- (1) -6 (2) +1.5 (3)  $-3\frac{1}{2}$  (4)  $+4\frac{1}{2}$



5 次の問いに答えなさい。

- (1) 次の各組の数の大小を, 不等号を使って表しなさい。  
□① -11, +2, -9.5 □② -0.12, -0.09  
□③  $-\frac{3}{5}$ ,  $+\frac{1}{2}$ ,  $-\frac{2}{5}$  □④ +1.8, -0.5,  $-\frac{2}{3}$

(2) 次の数を, 小さいほうから順に書きなさい。

- ① +10, -13, 0, -15 □② -1.5, -2, +1.9, -1

- ③  $-\frac{1}{2}$ , -0.4, +2,  $-\frac{4}{5}$ ,  $+\frac{4}{3}$

6 次の(1)~(4)にあてはまる数を, □の中ら選びなさい。

-19 +34 -27 +13 0 -6 -42

- (1) もっとも小さい数 (2) もっとも大きい数  
(3) 絶対値がもっとも大きい数 (4) 絶対値がもっとも小さい数

7 次の問いに答えなさい。

- (1) -0.9より小さい数の中で, もっとも大きい整数を書きなさい。  
(2) -5.6より大きい数の中で, もっとも小さい整数を書きなさい。  
(3) -3.2より大きく5.7より小さい整数の個数を求めなさい。  
(4)  $-\frac{9}{2}$ より大きく $\frac{20}{7}$ より小さい整数の個数を求めなさい。

8 次の問いに答えなさい。

(1) 次の数の中で, 絶対値が等しいものはどれとどれですか。

-2  $+\frac{1}{2}$  0 +2.4 -5 -0.5  $-4\frac{1}{2}$

- (2) 絶対値が3より小さい整数を, 小さい方から順に全部書きなさい。  
(3) 絶対値が4より小さい整数の個数を求めなさい。  
(4) 絶対値が2.4より大きく6.9より小さい整数を, 小さい方から順に全部書きなさい。

**1** 次の計算をなさい。

(1)  $(-18) + (+33)$

(2)  $(-36) + (+18)$

(3)  $(-5) + (+1.6)$

(4)  $-2.7 + (-4.3)$

(5)  $(-\frac{1}{4}) + (-\frac{1}{3})$

(6)  $\frac{3}{8} + (-\frac{5}{6})$

(7)  $(-27) - (-14)$

(8)  $(-19) - (+35)$

(9)  $(+2.5) - (-3.2)$

(10)  $-6.1 - (-4.9)$

(11)  $(-\frac{1}{3}) - (+\frac{2}{9})$

(12)  $-\frac{1}{2} - (-\frac{2}{3})$

**2** 次の計算をなさい。

(1)  $(+3) + (-6) - (-4) - (+8)$

(2)  $(-2) - (+5) - (-10) + (-20)$

(3)  $11 + (-9) - (-13) + (+21)$

(4)  $16 - (-8) + (-9) - (+18)$

**3** 次の計算をなさい。

(1)  $-18 + (-13) + 28$

(2)  $19 - 42 + 21 - 16$

(3)  $-14 - 37 + 21 - 49 + 52$

(4)  $16 - (-5) - 13 - (-28) - 17$

(5)  $-2.9 + 5 - 3.2 + 7.4$

(6)  $-4.8 + 5.7 + (-4) - 1.5$

(7)  $-\frac{3}{8} + \frac{7}{8} - \frac{5}{8} - \frac{1}{8}$

(8)  $-\frac{1}{2} + (-\frac{2}{3}) - (-\frac{3}{4}) + \frac{1}{6}$

**4** 次の計算をなさい。

(1)  $-27 - (+31) - (-19) + (-23)$

(2)  $37 - (-16) + (-28) - (+15)$

(3)  $32 + (-24) - (+46) + (-11)$

(4)  $-18 - (-19) + (-25) - (-31)$

(5)  $-2.9 - (-4.2) + (-1.6) + (+2.3)$

(6)  $4.3 - (+1.6) - (-5.2) + (-6.3)$

(7)  $5.8 - (-3.7) - (+4.9) - 7.3$

(8)  $-7.6 - (-2.5) - (+3.7) + (-1.2)$

(9)  $-\frac{5}{8} + (-\frac{1}{2}) - (-\frac{3}{4}) + \frac{3}{8}$

(10)  $\frac{1}{3} + (-\frac{1}{2}) - (-\frac{2}{3}) + (-\frac{5}{6})$

(11)  $-\frac{1}{3} - (-\frac{1}{2}) + \frac{1}{5} - (+\frac{3}{10})$

(12)  $-\frac{5}{6} + (-\frac{1}{2}) - (-\frac{2}{3}) + \frac{1}{4}$

(13)  $-\frac{1}{8} + (+\frac{1}{6}) - \frac{1}{3} - (-1)$

(14)  $-\frac{1}{6} - (-\frac{1}{4}) - (+\frac{2}{3}) - (-\frac{5}{12})$

**1** 次の計算をなさい。

(1)  $11 - (-6) \times 4$

(2)  $-3 + (-20) \div 5$

(3)  $8 \times (-3) - (-14)$

(4)  $3 \times (-8) + (-12) \div (-2)$

**2** 次の計算をなさい。

(1)  $3 \times (-4) + (-6)$

(2)  $(-2) \times (-6) + 24 \div (-8)$

(3)  $-6 + (-2)^2 \times 5$

(4)  $-10 + (-4^2) \div 2$

(5)  $(-48) \div \{6 - (-2)\}$

(6)  $10 + (5 - 9) \times 2$

**3** 次の計算をなさい。

(1)  $-6 + (-2) \times 3^2$

(2)  $5 + (-6)^2 \div 4$

(3)  $(-5)^2 - (-4)$

(4)  $(-20) \div 4 - 2^2$

(5)  $-5 \times 6 + (-4)^2$

(6)  $4 \times (-3)^2 - 15$

(7)  $-4 + 12 \div \left(-\frac{1}{2}\right)^2$

(8)  $(-2)^3 \div \frac{1}{4} - 4^2$

**4** 次の計算をなさい。

(1)  $8 + 6 \times (-4)$

(2)  $(-3) \times (-6) - (-9) \times 2$

(3)  $(-56) \div \{6 - (-2)\}$

(4)  $-3 \times \{2 - (-7)\} - (-5)$

(5)  $15 - (5 - 7^2) \div (-4)$

(6)  $8 - (-4^2 + 4) \times (-3)$

**5** 次の計算をなさい。

(1)  $(-3) \times (-2)^2 + (-3^2) \times (-4)$

(2)  $(-4^2 + 72) \div (-2)^3$

(3)  $-11 - \{5 - (20 - 14) \times 3\}$

(4)  $(-48) \div \{22 + (10 - 4^2) \times 5\}$

(5)  $-\frac{1}{3} + \frac{4}{9} \div \left(\frac{2}{3} - 2\right)$

(6)  $\left\{3 - \left(\frac{4}{7} - 0.4\right) \times 15\right\} \div (-0.5)$

**6** 次の計算をなさい。

(1)  $\left(-\frac{6}{7} + \frac{7}{8}\right) \times (-56)$

(2)  $60 \times \left(-\frac{7}{12} + \frac{3}{10}\right)$

(3)  $8^2 \times (-6) + 8^2 \times (-4)$

(4)  $125 \times (-13) - 25 \times (-13)$

(5)  $(-15) \times 99$

(6)  $(-25) \times 102$

- 1 右の表は、A～Fの6人の生徒の体重がCの体重の38kgより何kg重いかを表したものである。次の問いに答えなさい。

A	B	C	D	E	F
+3	-5	0	-3	+3	-4

(単位 kg)

- (1) A, B, Fの体重をそれぞれ求めなさい。
- (2) Aの体重はBの体重より何kg重いですか。また、Dの体重はEの体重より何kg軽いですか。
- (3) 6人の体重の平均を求めなさい。

- 2 右の表は、A, B, C, D, Eの5人の身長を調べ、156cmを基準として、基準より高いときは正の数で、基準より低いときは負の数で表したものである。Eの身長は161cmであるとき、次の問いに答えなさい。

A	B	C	D	E
+14cm	-9cm	-7cm	-11cm	

- (1) 表中の空らんにあてはまる数を書きなさい。
- (2) Bの身長は何cmか。
- (3) いちばん身長が低いのはだれで、何cmか求めなさい。
- (4) AとCの身長の差を求めなさい。
- (5) 5人の身長の平均を求めなさい。

- 3 たかし君はゲームを6回行い、その得点を65点を基準として、基準より高いときは正の数で、低いときは負の数で表すと次のようになった。これについて、あとの問いに答えなさい。

-14点, +2点, -22点, -7点, +17点, +21点

- (1) いちばん高い得点といちばん低い得点との差を求めなさい。
- (2) 得点の合計を求めなさい。
- (3) 6回の得点の平均を求めなさい。

- 4 下の表のA～カに数をあてはめて、どの縦、横、斜めの4つの数を加えても、和が等しくなるようにしたい。イにあてはまる数を求めなさい。

-6	ア	イ	8
7	ウ	0	-3
エ	-3	7	オ
2	6	カ	3

- 5 さいころを投げて、奇数の目が出たら-1点、偶数の目が出たら+2点もらえるものとする。6回投げたときの得点が0点であった。奇数の目が出た回数を求めなさい。

1 次の①~⑤の数は、下のA~Eのどの数のグループに入りますか。それぞれ選び、記号で答えなさい。2つ以上ある場合はすべて選ぶこと。また、あてはまるものがない場合は、「なし」と答えること。

- ① -3      ② 5      ③ 2.3      ④ 0      ⑤ -7.2

- A. 自然数 (正の整数)    B. 負の整数    C. 整数    D. 正の数    E. 負の数

① B, C, E    ② A, C, D    ③ D    ④ C    ⑤ E

2 次のA~Dは自然数どうしの計算です。下の(1)~(5)に答えなさい。

- A. (自然数) + (自然数)    B. (自然数) - (自然数)    C. (自然数) × (自然数)    D. (自然数) ÷ (自然数)

(1) A~Dから、答がかならず自然数になるものを選び、記号で答えなさい。

A, C

(2) A~Dから、答はかならず整数にはなるが、自然数にならないことがあるものを選び、記号で答えなさい。

B

(3) (2)で答えた計算の答をすべて出すためには、自然数以外に、あとどのような数が必要ですか。次のア~エからすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 整数以外の正の数    イ 負の整数    ウ 整数以外の負の数    エ 0 (ゼロ)

イ, エ

(4) A~Dから、答が整数にならないことがあるものを選び、記号で答えなさい。

D

(5) (4)で答えた計算の答をすべて出すためには、自然数以外に、あとどのような数が必要ですか。(3)のア~エからすべて選び、記号で答えなさい。

ア

3 次のA~Iの計算について、下の問いに答えなさい。

- A. (負の数) + (負の数)    B. (負の数) - (負の数)    C. (正の数) + (負の数)  
D. (正の数) - (負の数)    E. (負の数) × (負の数)    F. (負の数) ÷ (負の数)  
G. 0 ÷ (正の数)    H. (正の数) ÷ 0    I. (正の数) × 0

(1) A~Iから、答がかならず負の数になるものを選び、記号で答えなさい。

A

(2) A~Iから、答がかならず正の数になるものを選び、記号で答えなさい。

D, E, F

(3) A~Iから、答が0になることもあるものを選び、記号で答えなさい。

B, C

(4) A~Iから、答がかならず0になるものを選び、記号で答えなさい。

G, I

(5) A~Iから、答が出せないで、やっではいけないものを選び、記号で答えなさい。

H

4 次の計算について、下の問いに答えなさい。

$$6 \times 14 \div 3 \times 5 \div (-7) = 6 \times 14 \times \boxed{\text{ア}} \times 5 \times \boxed{\text{イ}} = \boxed{\text{ウ}}$$

(1)  $\boxed{\text{ア}} \sim \boxed{\text{ウ}}$ にあてはまる数を答えなさい。

ア,  $\frac{1}{3}$     イ,  $-\frac{1}{7}$     ウ, -20

(2) 3に対する $\boxed{\text{ア}}$ , -7に対する $\boxed{\text{イ}}$ のような数を何というか。

逆数

(3) 3と $\boxed{\text{ア}}$ , -7と $\boxed{\text{イ}}$ の積は同じ数になる。その数は何か。

1

5 次の計算について、下の問いに答えなさい。

$$6 + 14 - 3 + 5 - (-7) = 6 + 14 + \boxed{\text{ア}} + 5 + \boxed{\text{イ}} = \boxed{\text{ウ}}$$

(1)  $\boxed{\text{ア}} \sim \boxed{\text{ウ}}$ にあてはまる数を答えなさい。

ア, (-3)    イ, 7    ウ, 29

(2) 3と $\boxed{\text{ア}}$ , -7と $\boxed{\text{イ}}$ の2組の数は、ともに、あるものが同じであるものが違う。

同じものと違うものをそれぞれ答えなさい。

同じもの…絶対値

違うもの…符号

6 川原で5個の石を拾い、重さをはかるところ、表のようになった。次の問いに答えなさい。

- (1) 石の重さの仮平均を400gとして、仮平均と各石の重さとの違いを、正負の数を使って表中に記入しなさい。

石の重さ [g]	425	480	320	280	375
仮平均との違い					

(2) 仮平均との違いの和を求めなさい。

-120

(3) (2)の結果を使い、重さの真の平均を求めなさい。

376g

1 +, -の符号を使って, 次の数を表しなさい。

(1) 0より10小さい数

-10

(2) 0より7大きい数

+7

(3) 0より63大きい数

+63

(4) 0より38小さい数

-38

2 次の数の中から, 正の数, 負の数, 自然数をそれぞれ選びなさい。

$-5, +2\frac{2}{3}, -1.5, +4, +0.2, -8, +10$

正の数(  $+2\frac{2}{3}, +4, +0.2, +10$  ) 負の数(  $-5, -1.5, -8$  ) 自然数(  $+4, +10$  )

3 次の□にあてはまる数やことばをそれぞれ答えなさい。

(1) 現在から5分後を+5分と書くと, 7分前は□分と表せる。

-7

(2) 200円の収入を+200円と書くと, 150円の支出は□円と表せる。

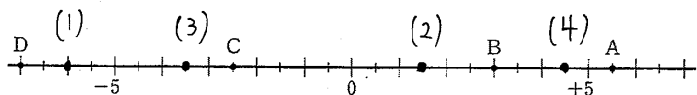
-150

(3) 気温が昨日より $3^{\circ}\text{C}$ 低いことを-3と書くと, +4は, 気温が昨日より□ことを表す。

4と高い

4 次の(1)~(4)の数を下の数直線上に表しなさい。また, 点A, B, C, Dに対応する数を書きなさい。

(1) -6 (2) +1.5 (3)  $-3\frac{1}{2}$  (4)  $+4\frac{1}{2}$



A +5.5, B +3, C -2.5, D -7

5 次の問いに答えなさい。

(1) 次の各組の数の大小を, 不等号を使って表しなさい。

□①  $-11, +2, -9.5$

$-11 < -9.5 < +2$

□②  $-0.12, -0.09$

$-0.12 < -0.09$

□③  $-\frac{3}{5}, +\frac{1}{2}, -\frac{2}{5}$

$-\frac{3}{5} < -\frac{2}{5} < +\frac{1}{2}$

□④  $+1.8, -0.5, -\frac{2}{3}$

$-\frac{2}{3} < -0.5 < +1.8$

(2) 次の数を, 小さいほうから順に書きなさい。

①  $+10, -13, 0, -15$

$-15, -13, 0, +10$

②  $-1.5, -2, +1.9, -1$

$-2, -1.5, -1, +1.9$

③  $-\frac{1}{2}, -0.4, +2, -\frac{4}{5}, +\frac{4}{3}$

$-\frac{4}{5}, -\frac{1}{2}, -0.4, +\frac{4}{3}, +2$

6 次の(1)~(4)にあてはまる数を, □の中から選びなさい。

$-19, +34, -27, +13, 0, -6, -42$

(1) もっとも小さい数

-42

(2) もっとも大きい数

+34

(3) 絶対値がもっとも大きい数

-42

(4) 絶対値がもっとも小さい数

0

7 次の問いに答えなさい。

(1)  $-0.9$ より小さい数の中で, もっとも大きい整数を書きなさい。

-1

(2)  $-5.6$ より大きい数の中で, もっとも小さい整数を書きなさい。

-5

(3)  $-3.2$ より大きく $5.7$ より小さい整数の個数を求めなさい。

9個

(4)  $-\frac{9}{2}$ より大きく $\frac{20}{7}$ より小さい整数の個数を求めなさい。

7個

8 次の問いに答えなさい。

(1) 次の数の中で, 絶対値が等しいものはどれとどれですか。

$-2, +\frac{1}{2}, 0, +2.4, -5, -0.5, -4\frac{1}{2}$

$+\frac{1}{2}$  と  $-0.5$

(2) 絶対値が3より小さい整数を, 小さい方から順に全部書きなさい。

$-2, -1, 0, +1, +2$

(3) 絶対値が4より小さい整数の個数を求めなさい。

7個

(4) 絶対値が2.4より大きく6.9より小さい整数を, 小さい方から順に全部書きなさい。

$-6, -5, -4, -3, +3, +4, +5, +6$

## 1 次の計算をなさい。

(1)  $(-18) + (+33)$

$$\underline{+15}$$

(3)  $(-5) + (+1.6)$

$$\underline{-3.4}$$

(5)  $(-\frac{1}{4}) + (-\frac{1}{3})$

$$\underline{-\frac{7}{12}}$$

(7)  $(-27) - (-14)$

$$\underline{-13}$$

(9)  $(+2.5) - (-3.2)$

$$\underline{+5.7}$$

(11)  $(-\frac{1}{3}) - (+\frac{2}{9})$

$$\underline{-\frac{5}{9}}$$

(2)  $(-36) + (+18)$

$$\underline{-18}$$

(4)  $-2.7 + (-4.3)$

$$\underline{-7}$$

(6)  $\frac{3}{8} + (-\frac{5}{6})$

$$\underline{-\frac{11}{24}}$$

(8)  $(-19) - (+35)$

$$\underline{-54}$$

(10)  $-6.1 - (-4.9)$

$$\underline{-1.2}$$

(12)  $-\frac{1}{2} - (-\frac{2}{3})$

$$\underline{+\frac{1}{6}}$$

## 2 次の計算をなさい。

(1)  $(+3) + (-6) - (-4) - (+8)$

$$\underline{-7}$$

(2)  $(-2) - (+5) - (-10) + (-20)$

$$\underline{-17}$$

(3)  $11 + (-9) - (-13) + (+21)$

$$\underline{+36}$$

(4)  $16 - (-8) + (-9) - (+18)$

$$\underline{-3}$$

## 3 次の計算をなさい。

(1)  $-18 + (-13) + 28$

$$\underline{-3}$$

(3)  $-14 - 37 + 21 - 49 + 52$

$$\underline{-27}$$

(5)  $-2.9 + 5 - 3.2 + 7.4$

$$\underline{6.3}$$

(7)  $-\frac{3}{8} + \frac{7}{8} - \frac{5}{8} - \frac{1}{8}$

$$\underline{-\frac{1}{4}}$$

(2)  $19 - 42 + 21 - 16$

$$\underline{-18}$$

(4)  $16 - (-5) - 13 - (-28) - 17$

$$\underline{19}$$

(6)  $-4.8 + 5.7 + (-4) - 1.5$

$$\underline{-4.6}$$

(8)  $-\frac{1}{2} + (-\frac{2}{3}) - (-\frac{3}{4}) + \frac{1}{6}$

$$\underline{-\frac{1}{4}}$$

## 4 次の計算をなさい。

(1)  $-27 - (+31) - (-19) + (-23)$

$$\underline{-62}$$

(3)  $32 + (-24) - (+46) + (-11)$

$$\underline{-49}$$

(5)  $-2.9 - (-4.2) + (-1.6) + (+2.3)$

$$\underline{2}$$

(7)  $5.8 - (-3.7) - (+4.9) - 7.3$

$$\underline{-2.7}$$

(9)  $-\frac{5}{8} + (-\frac{1}{2}) - (-\frac{3}{4}) + \frac{3}{8}$

$$\underline{0}$$

(11)  $-\frac{1}{3} - (-\frac{1}{2}) + \frac{1}{5} - (+\frac{3}{10})$

$$\underline{\frac{1}{15}}$$

(13)  $-\frac{1}{8} + (+\frac{1}{6}) - \frac{1}{3} - (-1)$

$$\underline{\frac{17}{24}}$$

(2)  $37 - (-16) + (-28) - (+15)$

$$\underline{10}$$

(4)  $-18 - (-19) + (-25) - (-31)$

$$\underline{7}$$

(6)  $4.3 - (+1.6) - (-5.2) + (-6.3)$

$$\underline{1.6}$$

(8)  $-7.6 - (-2.5) - (+3.7) + (-1.2)$

$$\underline{-10}$$

(10)  $\frac{1}{3} + (-\frac{1}{2}) - (-\frac{2}{3}) + (-\frac{5}{6})$

$$\underline{-\frac{1}{3}}$$

(12)  $-\frac{5}{6} + (-\frac{1}{2}) - (-\frac{2}{3}) + \frac{1}{4}$

$$\underline{-\frac{5}{12}}$$

(14)  $-\frac{1}{6} - (-\frac{1}{4}) - (+\frac{2}{3}) - (-\frac{5}{12})$

$$\underline{-\frac{1}{6}}$$



1 次の計算をなさい。

(1)  $11 - (-6) \times 4$

35

(3)  $8 \times (-3) - (-14)$

-10

2 次の計算をなさい。

(1)  $3 \times (-4) + (-6)$

-18

(3)  $-6 + (-2)^2 \times 5$

14

(5)  $(-48) \div \{6 - (-2)\}$

-6

3 次の計算をなさい。

(1)  $-6 + (-2) \times 3^2$

-24

(3)  $(-5)^2 - (-4)$

29

(5)  $-5 \times 6 + (-4)^2$

-14

(7)  $-4 + 12 \div \left(-\frac{1}{2}\right)^2$

44

(2)  $-3 + (-20) \div 5$

-7

(4)  $3 \times (-8) + (-12) \div (-2)$

-18

(2)  $(-2) \times (-6) + 24 \div (-8)$

9

(4)  $-10 + (-4^2) \div 2$

-18

(6)  $10 + (5-9) \times 2$

2

(2)  $5 + (-6)^2 \div 4$

14

(4)  $(-20) \div 4 - 2^2$

-9

(6)  $4 \times (-3)^2 - 15$

21

(8)  $(-2)^3 \div \frac{1}{4} - 4^2$

-48

4 次の計算をなさい。

(1)  $8 + 6 \times (-4)$

-16

(3)  $(-56) \div \{6 - (-2)\}$

-7

(5)  $15 - (5 - 7^2) \div (-4)$

4

5 次の計算をなさい。

(1)  $(-3) \times (-2)^2 + (-3^2) \times (-4)$

24

(3)  $-11 - \{5 - (20 - 14) \times 3\}$

2

(5)  $-\frac{1}{3} + \frac{4}{9} \div \left(\frac{2}{3} - 2\right)$

 $-\frac{2}{3}$ 

6 次の計算をなさい。

(1)  $\left(-\frac{6}{7} + \frac{7}{8}\right) \times (-56)$

-1

(3)  $8^2 \times (-6) + 8^2 \times (-4)$

-640

(5)  $(-15) \times 99$

-1485

(2)  $(-3) \times (-6) - (-9) \times 2$

36

(4)  $-3 \times \{2 - (-7)\} - (-5)$

-22

(6)  $8 - (-4^2 + 4) \times (-3)$

-28

(2)  $(-4^2 + 72) \div (-2)^3$

-7

(4)  $(-48) \div \{22 + (10 - 4^2) \times 5\}$

6

(6)  $\left\{3 - \left(\frac{4}{7} - 0.4\right) \times 15\right\} \div (-0.5)$

 $-\frac{6}{7}$ 

(2)  $60 \times \left(-\frac{7}{12} + \frac{3}{10}\right)$

-17

(4)  $125 \times (-13) - 25 \times (-13)$

-1300

(6)  $(-25) \times 102$

-2550

- 1 右の表は、A～Fの6人の生徒の体重がCの体重の38kgより何kg重いかを表したものである。次の問いに答えなさい。

A	B	C	D	E	F
+3	-5	0	-3	+3	-4

(単位 kg)

- (1) A, B, Fの体重をそれぞれ求めなさい。

A 41kg, B 33kg, F 34kg

- (2) Aの体重はBの体重より何kg重いですか。また、Dの体重はEの体重より何kg軽いですか。

8kg 重い, 6kg 軽い

- (3) 6人の体重の平均を求めなさい。

37kg

- 2 右の表は、A, B, C, D, Eの5人の身長を調べ、156cmを基準として、基準より高いときは正の数で、基準より低いときは負の数で表したものである。Eの身長は161cmであるとき、次の問いに答えなさい。

A	B	C	D	E
+14cm	-9cm	-7cm	-11cm	

- (1) 表中の空らんにあてはまる数を書きなさい。

+5cm

- (2) Bの身長は何cmか。

147cm

- (3) いちばん身長が低いのはだれで、何cmか求めなさい。

D, 145cm

- (4) AとCの身長の差を求めなさい。

21cm

- (5) 5人の身長の平均を求めなさい。

154.4cm

- 3 たかし君はゲームを6回行い、その得点を65点を基準として、基準より高いときは正の数で、低いときは負の数で表すと次のようになった。これについて、あとの問いに答えなさい。

-14点, +2点, -22点, -7点, +17点, +21点

- (1) いちばん高い得点といちばん低い得点との差を求めなさい。

43点

- (2) 得点の合計を求めなさい。

387点

- (3) 6回の得点の平均を求めなさい。

64.5点

- 4 下の表のA～カに数をあてはめて、どの縦、横、斜めの4つの数を加えても、和が等しくなるようにしたい。イにあてはまる数を求めなさい。

-6	ア	イ	8
7	ウ	0	-3
エ	-3	7	オ
2	6	カ	3

4

- 5 さいころを投げて、奇数の目が出たら-1点、偶数の目が出たら+2点もらえるものとする。6回投げたときの得点が0点であった。奇数の目の出た回数を求めなさい。

4回